

車外画像データを用いた小型電動モビリティの機能開発に関する実証実験

■ 実証実験の概要

当社は、より安心でより便利なモビリティ社会の実現を目指し、動画形式の車外画像データ（以下、「画像データ」）を活用した小型電動モビリティの運転支援技術の開発に取り組んでいます。

本取り組みの実施にあたり、当社は Toyota Woven City（以下、「Woven City」）の住民向けモビリティシェアリングサービスにて提供する小型電動モビリティに備え付けられたカメラから画像データを同時に収集し、技術開発に活用します。

■ 実証エリア

Woven City 敷地内とその周囲 15km 圏程度（最大走行可能距離：30km）

■ 画像データの取得方法

小型電動モビリティに搭載されたカメラより、前方視界の車外画像データを取得します。

■ 画像データを取得する期間

2025 年 10 月～2026 年 3 月（予定）

■ 画像データの利用目的

小型電動モビリティの周辺状況の分析を通じた、運転の支援を行う技術開発のため

■ 画像データの第三者提供

当社は、以下に定める場合を除き、本実証実験において取得する画像データを第三者提供いたしません。

- ・個人情報保護法その他関連法令により認められる場合
- ・個人が特定できない形に加工した上で、学会発表などの場で外部への成果報告を実施する場合

■ 画像データを保管する期間

取得から 5 年程度画像データを保存することを予定しています。取得した画像データのうち、今後の開発に必要となる一部のデータに限って、上記の保管期間を超えて保管・利用することがありますが、不要になった場合すみやかに削除します。

■ 個人情報保護・プライバシー尊重への取り組み

本実証実験で当社が取得する画像データには、歩道や道路脇を歩く人や、前方や隣接する車線を走行する車両のナンバーなどが映り込む可能性があります。当社はこの画像データを、個人情報として、個人情報保護法その他の関連する法律を順守して取り扱います。また、映り込んだ方のプライバシーを尊重するための取り組みを行っています。

当社は、映り込んだ方の個人情報保護・プライバシーの尊重のために、以下の対応をしています。

- ・ 画像データの取り扱いに関する情報の適時適切な公表（本お知らせ）
- ・ 画像データに対するアクセス制限やアクセスログの管理
- ・ 画像データに映り込む人や車両のナンバーを個別に検索できない形式での保管
- ・ 画像データに映り込んだ人や車両について個別に追跡したり、その行動特性や移動傾向などを分析したりすることの禁止

当社の取り組みについて、映り込む可能性のある皆様にご理解いただけるよう、これからも十分な説明や対応に努めてまいります。

（初版：2025 年 10 月 1 日）